

タンジェ (モロッコ) 23 日目

アフリカ大陸モロッコにフェリーで渡ってみたい。

【メモ】 Morocco ツアー

Alheshiras - Ceuta - テトゥアン - タンジェ - Ceuta - Alheshiras

【フェリー&ツアーBus】

Flandria ツアーでモロッコへ。

朝 6:30 夏時間でまだ真っ暗。

ロビーでタクシーを呼んでもらいフェリーポートへ 7€。

フェリーターミナルに入ると、ツアーの係の人にすぐ呼び止められ、手続きをする。乗船名簿を 2 通記入しゲート付近で待つ。

乗船すると子供が多く、叫び声、鳴き声、駆け回りでまるで遊園地。

1 時間程度で、アフリカスペイン領 Ceuta。



観光バスに乗りモロッコへ、10分ほど走ると国境の検問所があり長蛇の列。ここを通過するのに30分以上、写真は絶対とるなと何度もいろいろな言語言われる。パスポートと乗船名簿はガイドに預ける。ちょっと不安。

検問を抜けとモロッコで豪快な景色が広がる。1時間くらいでテトゥアンに到着。そこでマーケット旧市街地をまわる。野菜、肉、魚、果物、貴金属、衣類等あらゆるものを売っている。最後にガイドご用達のショップに連れて行かれる。私たちは、Japan と言われじゅうたん部屋へととおされる。様々なじゅうたんを広げるが長旅だからと断る。日本円で1万円程度、手織りというがそんなはずはない。



お土産売り場で、地元の靴を妻が熱心に見ているとガイドの地元のアシスタントがもっと安いものを持ってくるというのでそこではなにも買わず出る。次は昼食 13:30 これもご用達のきれいなレストラン、地元音楽演奏つき。

モロッコのスープ、タジン鍋(野菜肉)、串焼き2本、甘いクッキー
飲み物は別料金、コーラを頼む、だれもビール等飲まない。

スペイン人と一緒になり言葉はわからなかったが、小さな女の子が1人おり、よくおしゃべりするので盛り上がった。

タジン鍋が運ばれると、みんな食べ方がわからず、店員に聞くと、**Japan** と言いながら私たち二人によそってくれ、あとは自分でやれと言ったようでみんなそれぞれさらにとる。



食事中ガイドのアシスタントが靴を持って来る。20€というので支払、男物とは聞くとそれは分からなかったみたいで、再度持ってきたが、気に入らず OUT、結局チップをねだられ 2+1€ 2回払う。テーブルの布、演奏にチップをあげる。

食事後バスに戻り、砂漠地帯を通り、タンジェに着く。降りた瞬間物売りが付きまってくる。日本人が言っている言葉がよくわかる。彼らは「さよなら」「ファイト」「後で」などなど様々な日本語を言うてくる。ここでもご用達の店へはいる。ガイドは Japan といひ、くつの係に連れて行かれる。前のショップで2階から様子を見ていたよう。

3足で 90€というので妻が 60€といい値段交渉。最終的に 70€カード払い。

2階に連れて行かれカード決済。その際モロッコディルハムに変換不安になる。

ガイドのアシスタントの案内で、みんなのところへ。そこでもしつこい物売りが待っている。それを退けバスに乗る。アシスタントにチップ 1€。小銭がたくさん必要。他のツアー客も四苦八苦、両替できないかと聞いてきたが、こちらも小銭品切れ状態。

慣れている黒人一行は、小さな子供の物売りがくると小銭を渡して、いらないと断ると子供は去って行った。



パスは、ジブラルタル海峡を見ながらセウタへ。絶景のコースで見晴らしが素晴らしい。途中黒人のグループが道脇に多数見える。ヨーロッパに入りたい人たちか？





セウタに入るときは、出るときよりさらに厳しく、パスの中まで係官が入ってきて全員確認される。1時間以上かかりフェリー出発ぎりぎり 19:30 でみんな走らされる。手荷物検査も乗るときと降りた時に受けた。フェリーは高速フェリーのように40分くらいでアルヘシラスに到着。中は結構豪華で、アルコールのスタンドもあったのでビールを飲む。

ポートから歩きながらシーフードレストランを探すが、肉料理のレストランが少しあいているだけ。夕食はあまり食べないよう。ランチを豪華にという感じか。

デパートがあったので入ると、レストランがあった。しかし客は私たちをいれて3組のみ。コメのパスタリゾット風、魚のフライ、ビールを注文。塩味がきいて結構うまい食事。カード使えるかというので、**English no** というので、カードを見せると「シーシー」とOK ホテルに戻って出発の準備。